

# クラブインフォメーション



発行:(財)鳥取県体育協会 〒680-0944 鳥取市布勢 146-1

TEL:0857-28-1288 FAX:0857-28-1399 E-mail:tabuchi-h@sports-tottori.com

平成23年9月

第28号

## 第3回鳥取県クラブマネジャー研修会を開催しました



講師:松本耕二氏

平成23年8月7日(日)、倉吉体育文化会館に於いて第3回鳥取県クラブマネジャー研修会を開催しました。

県内3クラブ、地域のスポーツ関係者が参加した研修会の講師に、松本耕二氏(広島経済大学准教授)をお招きし、「総合型地域スポーツクラブのつくり方と運営」についてお話いただきました。

### ■発起人の共通理解(理念の共有)

「何のために」「何に向かって」「どうやって」クラブを設立するのか、みんなが理解・納得することが大切。それには、関係者が賛同できる明確なミッション(使命)・ビジョン(将来構想)づくりと、現実的な事業計画(ビジネスプラン)づくりが重要となる。

### ■会費と参加費を分ける

会費と参加費の区別を明確にして問題点を考える。

安かろう悪かろうでは人は来ない。クラブサービス・事業、プログラムサービスにあった価格設定を。

### ■魅力あるプログラム・指導者

プログラムの内容と指導者に魅力があれば、お金を払ってでもやりたいと思う(継続する。)

その為に、ヒト・もの・情報をコーディネートできるキーパーソンを探す(クラブマネジャーの養成)。

### ■助成金

国や各種関連団体の情報を定期的にチェックしておくことよい。また申請の際には“キーワード”を押さえておくこと採択される可能性が高くなる。

### ■失敗する理由

スタッフが“ボランティア”を口実に専門的な知識を身につけようとしない。また“してあげている”という気持ちでやっているといずれ疲れてしまう。クラブづくりや運営・活動をまず自分自身が“たのしむ”ことが大切。

一般に“スポーツ”という言葉のイメージは良いが、“スポーツ”の文字を入れることで苦手意識を持つ人も少なくない。もともとスポーツの語源は、気分転換としての娯楽で、チェスや囲碁はIOC(国際オリンピック委員会)が承認するスポーツの一つである。私たちがたのしむスポーツには、健康づくりやレジャー・レクリエーションなどいろんな活動があっている。

クラブづくりの際、ネーミングに「スポーツ」という文字を入れる必要があるのか、今一度考えてみることも必要かもしれない。



日吉津村 : 打吹スポーツクラブ



若桜町 : 国府町 : 八幡池スポーツクラブ

今回参加されたクラブで来年度に向けて設立検討中の日吉津村・若桜町・国府町・八幡池スポーツクラブの方から、たくさんの質問があり、松本先生に丁寧に回答していただき、問題解決の手助けになった事と思います。

クラブ運営に関わる皆さんは、課題解決・他クラブの状況を知る良い機会ですので、積極的に研修会に参加してクラブ運営の参考にしてほしいと思います。

## クラブ訪問コーナー



### あいだクラブ＊硬式野球教室体験



米田さん・高岡さん・谷口さん・山崎さん



股割り～～～



みんな良い顔してる!!

平成 23 年 8 月 12 日（金）、あいだクラブ主催の硬式野球教室の体験入部にお邪魔しました。8 月 7 日にも体験入部が行われており、2 日間で溝口中学校、箕蚊屋中学校、淀江中学校、尚徳中学校から合わせて 9 名の参加がありました。

中学 3 年の部活が終わった 8 月から、高校に入学するまでの 8 ヶ月間、個人の体力強化を図るための教室で、毎週土曜日・日曜日に行います。

硬式野球の基礎はもちろん、個人のスキルアップ、故障しない身体と逞しい精神力を養い、不安なく高校に行ってもらうためのものです。

あいだクラブ代表の山崎さん、監督の米田政紀さん、コーチとしてあいだクラブ 1 期生の谷口亮太さん・高岡大樹さん（共に大学 2 年生）が指導されました。

挨拶の中で、「1 人ひとり愛情を込めて教えます。ここの練習でヘトヘトになるまで頑張って、自宅からもここでやった事を応用してやってほしい。少しだけ無理をすることが、8 か月間重なると大きなものになる。将来の青写真を描いて、気合を入れて一緒に頑張っていこう!」と話されました。

そして、しんどくても声を出す・しゃがまない・下を向かないことを約束し練習を開始しました。

練習の内容としては、アップ（主にランニング：約 1 時間）・キャッチボール・ノック・バッティング・ベースランニング・アヒル等、主に下半身重点のメニューでした。

どういふことを考えながらこの練習はするのか、何のためにこのメニューをするのか等を教えてもらいながら約 4 時間のハードメニューをこなしました。

厳しい練習をやり遂げた達成感・仲間と一緒に乗り越えた一体感からか、最後はみな打ち解け、笑顔がとても印象的でした。

**あいだクラブのスタッフ全員が、硬式野球に対して厚い思いを持って関わっている事が解りました。**

**鳥取県の硬式野球の底上げにつながると嬉しいです。**

**この子どもたちが 8 ヶ月間後にどれだけ成長しているかとても楽しみです。**



### 東日本大震災義援金に協力いただきありがとうございました!!



東日本大震災の義援金を各クラブに協力いただき、集まった義援金は 7 月 22 日、日本体育協会の義援金専用口座に振り込みいたしました。協力いただきましたクラブの方に心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

義援金総額      69,330 円



## ほうきスマイリー＊トライアスロン教室



小原 工さん



開会式



スイム

平成 23 年 8 月 16 日（火）、伯耆町総合スポーツ公園でほうきスマイリー主催のトライアスロン教室が開かれ、鳥取県西部を中心に小学 1 年生から 6 年生までの男女合わせて 30 名の参加がありました。

同月 21 日に行われる、「第 17 回オールジャパンジュニアトライアスロン in 伯耆」に向けて開かれたもので、経験のある子もない子も完走できるようにスイム・バイク・ランを試走し、競技の流れや注意点などを学びました。

米子市出身で、現在【チーム・エフォーツ】でトライアスロンの指導をされている、小原 工さんが激励に来られ、「スポーツを通して人間として生きていく上で大切なことが学べる。何事もあきらめず頑張れば自分を変えられることができる。努力し続けることの大切さを伝えて行きたい（**努力無限**）。21 日の大会は順位にとらわれず、トライアスロンを楽しんでほしい。」と話されました。

※小原 工さん：シドニー五輪のトライアスロン代表・ワールドカップで日本人初の銅メダル獲得・全日本トライアスロン皆生大会 3 度優勝などの経歴の持ち主



バイク



ラン

### 【競技上の注意点】

スイム・・・ターンの時壁を両足でしっかり蹴り。手は前で揃える。

バイク・・・トランジット袋から落ち着いて着替えを出すこと。

（トランジット袋：ランに必要なヘルメット・靴・服が入っている袋）

スイムで使用したものをトランジット袋に入れて、元の場所にちゃんと戻すこと。

靴を履いたら走りながらヘルメットをつける。

ラン・・・走りだす前に、水分補給する。

給水所のスポンジや、シャワーを浴びることができる箇所まで身体を濡らす。

### 【大会までにしておくこと】

ロスタイムを少なくするため着替えの練習をしておく。

体調管理に気をつけて過ごす。

熱中症予防の為、普段から水分を少しずつ飲む練習をして、水分を吸収できる身体にする。

☆参加した伯仙小学校の保護者から一言☆

最後までやり遂げることで、“やればできる”という自信につなげてくれて、強い人になってほしい！



## 「第 17 回オールジャパンジュニアトライアスロンin伯耆」大会結果



8 月 21 日（日）に行われた鉄人レースに県内外合わせて 281 名が挑戦し、トライアスロン教室参加者は全員完走しました。

完走者は海洋センターロビーの壁に、名前入りのプレートが掲示されます。

選手・スタッフの皆さんお疲れ様でした。

## 中部地区総合型地域スポーツクラブ交流会＊夏休み親子アドベンチャー



平成 23 年 8 月 20 日 (土)、中部地区総合型地域スポーツクラブ交流会「夏休み親子アドベンチャー」を関金町の大山池で開催しました。

倉吉に在るのに大山池? 「大山池」は水田のかんがい用として作られた池で、大山の姿が逆さに映ることからその名がついたそうです。



この日は暑さも和らぎ、外でイベントをするのには最適となりました。  
参加クラブは、打吹スポーツクラブ・青谷スポーツクラブの 2 クラブで、一般参加者を含め 11 名が参加し、指導には、鳥取県カヌー協会、関金 B & G 海洋センター、かほくスポーツクラブの方があたられ、昆虫採取・カヌー・川エビとり・魚釣りを体験しました。



最初にパドルの操作方法や諸注意を受けた後、ライフジャケットを着けてカヌーに乗りました。私も 2 人乗りのカヌーに乗せていただき (写真撮影の為漕いでないが)、大山池の上で 1 時間過ごしました。水の上をカヌーで滑るように進むのはとても気持ちよく、また周辺の景色がとても綺麗でリラックスすることができました。

小学生たちは最初上手く漕ぐ事が出来ず冴えない表情でしたが、終わるころには上手に漕げるようになり楽しそうに乗っていました。



次に魚釣りに挑戦をしましたが、どの子も餌 (みみず) を付けること・魚を針から外すことが出来ず、しかも入れ食い状態だったので徳丸さん (クラブマネジャー) は大忙しでした。この池には、鯉・鮒・モロコなどが生息しているようですが、今日は小さな鯉がバケツ一杯釣れ、子ども達は大満足でした。

(釣竿は、かほくスポーツクラブ理事・横木 進さんが一生懸命作られました。)

川エビは、ペットボトルの上 3 分の 1 くらいを切り、切った上の部分を逆さまにして下に差し込み、中に餌を入れて川の中に仕掛けました。

ほんの数分でペットボトルの中には、透明な川エビがたくさん入り、子ども達は大喜びでした。

(川エビは、食べた物が頭の部分に蓄えられるので、食べたもので頭の色が変わるのだそうです。)



大山池の周辺は自然が豊富で、カブトムシ・クワガタ・カミキリムシをたくさん捕ることができました。



大人も子どもも、自然に触れる機会が少なくなっています。自然の中で一日ゆったり過ごしてみるのもいいですね。



参加者の声



- ☆カヌーに乗る時、文句を言ったけどやってみたら楽しかった。
- ☆カヌーをうまく漕げるようになったら、気持ち良かった。
- ☆魚もエビもたくさん取れて楽しかった。



## 打吹スポーツクラブ＊” チャリティー “12時間耐久ソフトバレーボール大会



奥大山ぶなの森クラブ VS 青谷スポーツクラブ



けたかスポーツクラブ！



いただきます!!



打吹スポーツクラブの近藤さん・高橋さん



打吹スポーツクラブ会長：杉谷さん

平成 23 年 8 月 21 日 (日)、打吹スポーツクラブ主催の「第 2 回 “チャリティー” 12 時間耐久ソフトバレーボール大会」が関金総合運動公園体育館に於いて行われました。

参加は、競技の部 19 チーム、オープンの部 3 チームの合計 170 名で、スポーツクラブからは、青谷スポーツクラブ・けたかスポーツクラブ・奥大山ぶなの森クラブが参加（オープンの部）しました。

試合時間は 10 分で、全試合の総得点で順位を競います。残念ながら総合型地域スポーツクラブチームは、オープン参加の為、順位決定はありませんでした。

前年度に比べ、参加チームも約 2 倍に増え、競技者のレベルもアップしていて、見応えのある試合もありましたが、皆和やかな雰囲気楽しくプレーをしました。

お昼御飯に、打吹スポーツクラブのスタッフの方が、ソーメン（無料）・フランクフルト（2 本 100 円）・かき氷（150 円）・焼き鳥（3 本 100 円）など用意して下さい、参加者全員おいしく頂きました。

準備から大会運営まで大変だったと思いますが、また来年も企画してほしいです。

楽しくプレーさせていただきありがとうございました。お疲れ様でした！

来年は、総合型地域スポーツクラブからの参加がもっと増えることを期待しています。



青谷スポーツクラブ “” おすすめして “



奥大山ぶなの森クラブ “若手で揃えました”



けたかスポーツクラブ “熟女塾男??”



皆さんお疲れ様でした!!